

永関さん 札幌ギネス認定

自転車日本縦断 7日と19時間37分

札幌市在住の永関博紀さん(28)が今年7月、自転車で北海道から鹿児島までの約2650キロを7日と19時間37分で完走し、「自転車による日本縦断の最速走破記録」として11月、ギネス世界記録に認定された。自転車の長距離走を始めてからほぼ1年で、イタリア人のプロロードレーサーが持っていた記録を21時間近く縮めた。

(十井若樺)

永関さんは7月19日、稚数時間仮眠をとる毎日だった内市の宗谷岬を出発し、鹿た。永関さんは26日夜に佐児島県佐多岬までの約26多岬に到着した瞬間について「『うれしい』という感情より、疲労感の方が強かった」と笑う。

砂川市出身。小樽商大に



ギネス世界記録の認定証を手に「これを受け取ってようやく実感がありました」と笑う永関博紀さん

最速記録を21時間短縮

在学中は軟式野球で全国大会に出場した。大学卒業後、東京の大手IT企業に就職。インターネット番組の演出を手がける中、人気芸人やアイドルが全力で芸を披露する姿を目の当たりにし「直接感動を伝える立場になりたい」と2年半で退社した。やりたいことを模索する中で、日本縦断記録の存在を知り、昨年7月に自転車で乗り始めた。

実は、日本縦断最速記録への挑戦はこれで2度目だ。初挑戦は昨年10月。当時もイタリア人が持つ8日と16時間49分の記録を約40分短縮したが、ギネス記録の申請に必要な資料が足りず認定されなかった。再挑戦に向け、約1年かけ体力づくりに励み、自らスポンサー集めに奔走。楽天(東京)など約20社の協力を得た。

今月、永関さんは札幌で動画制作会社を設立した。会社名は「挑戦舎」。さまざまなことに挑戦する人に密着するドキュメンタリー番組を制作する予定だ。自らも、来夏には自転車での米国内陸縦断(約7200キロ)の最速記録を目指す。「挑戦にはさまざまな出会いがあり、人生を豊かにしてくれる」と力強く語った。